

みみタロウキャラバン隊 活動報告書



公益財団法人 滋賀県国際協会

2021 年（令和 3 年）3 月

はじめに

新型コロナウイルス感染拡大により、当協会内の「しが外国人相談センター」に例年以上に多くの相談が寄せられていた5月半ばに、担当主管課である滋賀県総合企画部国際課（以下、「国際課」という）から、外国人県民等を対象とした支援事業ができないかとの相談がありました。そこで、手探りの中、始めたのがこの「みみタロウキャラバン隊出張型支援事業」でした。この活動を通じて、直接外国人県民の方と話したり、行政窓口等の現場の様子を見ることができました。今回、当キャラバン隊メンバーを募集したところ、外国人の皆さんの力になりたいと多くの方々が集まってくださり、はじめて会ったとは思えない結束力で、創意工夫をしながら、外国人の方々への相談センターの啓発活動や情報提供を行ってくれました。

私が活動中に交わしたメンバーとの何気ない会話の中には、今まで知らなかった異文化理解につながる話や、海外や日本での多様な経験を通しての様々な思いがありました。この事業を通して、多文化共生社会の実現には何が必要なのかを改めて考える機会を得たのは、誰よりも私自身ではなかったかと今になってしみじみと実感しています。

県内に多くの外国人の方々が生かされている今日、県民の方々にもこのような出会いの機会があれば、すべての県民にとって、もっと多文化共生が身近になるのではないかと感じました。当初予定のなかったメンバーによる座談会を企画したのは、メンバーの思いや体験を少しでも知っていただく機会を設けたいと考えたからです。活動報告とあわせて、記録を収めましたので、ご一読いただけると幸いです。

最後になりましたが、県内市町や国際交流協会、イオングループおよび平和堂グループ、日本語教室等、この事業にご協力いただきました皆様に感謝申し上げます。

この報告書が滋賀県で多文化共生社会の推進に関わる方々の参考になれば幸甚です。

2021年3月吉日

公益財団法人 滋賀県国際協会

光田 展子

目 次

みみタロウキャラバン隊活動報告書.....	1
参考資料	
参考資料1：みみタロウキャラバン隊活動実績一覧.....	17
参考資料2：みみタロウキャラバン隊巡回先一覧.....	19
みみタロウキャラバン隊座談会.....	21
資 料 編.....	26
外国人県民等に対する新型コロナウイルス感染症に影響についてのアンケート集計結果.....	26
市町別滋賀県内外国人人口.....	34
滋賀県の外国人人口の推移.....	35

みみタロウキャラバン隊 活動報告書

1 背景

日本に暮らす外国人人口は、年々増加傾向にあります。滋賀県も例外ではなく、2020 年 12 月現在の滋賀県在住の外国人県民等は 3 万 3,076 人と、過去最多を記録し、その国籍も合計 100 か国以上とますます国際色豊かになりました。公益財団法人滋賀県国際協会は、その前身である財団法人滋賀県国際友好親善協会から平成 11 年(1999 年)に名称を改め、これまで多文化共生社会の地域づくりや、国際教育、ボランティアの活動推進、情報発信事業等を通じて、滋賀県在住の外国人県民等に向けて多岐に亘る支援を展開してきました。

他方、東京オリンピックを控えて更なる国際化に向け国全体が邁進していた 2020 年は、猛威を振るいはじめた新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の影響により、世界中が未曾有の混乱に見舞われた 1 年となりました。世界各国でのロックダウンや緊急事態宣言の発令、国境の封鎖など、過去に例の無い事態の中で、日本においても生活様式が一変し、健康や生活、教育、子育て、雇用など先行きの見えない不安を抱えている中、外国人は更なる問題に直面することも少なくありません。

例えば、滞在許可や労働許可などの期限切迫、ロックダウンや商業便の欠航による帰国困難、あるいは家族を迎える予定だったが見通しが立たないなど、外国人特有の問題に多くの方が悩みを抱えているのが現状です。しかし、当事者が自分自身で得られる情報に格差があることで、各種給付金や休業補償など、本来受けられるはずの支援を受けられないほか、関係各所がそれらの情報を翻訳しても、本当に必要とする方々に確実に届けるに至らないなど、外国人県民等と行政間の課題も見えてきました。

これらの状況を踏まえて、滋賀県国際課と公益財団法人滋賀県国際協会は、新型コロナウイルス感染症に関する支援強化月間の取組の一環として『みみタロウ*キャラバン隊』を発足させました。

*「みみタロウ」は、当協会が発行する外国人向け情報紙。外国人県民等にも一定の知名度があることから、親しみと安心を感じてもらえるようにこの情報紙の名前から命名しました。

2 事業概要

2-1 目指す成果と活動

2017 年 1 月、滋賀県は全国に先駆け、持続可能な開発目標 (SDGs) を県政に取り込むことを宣言しました。本事業では、この SDGs の「誰一人取り残さない」という理念に基づいて外国人県民等に寄り添った支援を行い、SDGs における 10 番目のゴール「人や国の不平等をなくそう」を目指して活動しました。



みみタロウキャラバン隊の目指す具体的な成果は、以下の4項目です。

- 各種支援制度の利用促進
外国人県民等に対する支援制度の手続きに関する補助を行うことでより多くの方々が支援制度を受けられる環境をつくる。
- しが外国人相談センターを身近な存在に
当協会内に設置する「しが外国人相談センター」の存在、役割を外国人県民等および各市町に積極的に宣伝し、認知度向上を図るとともに、その場で相談者をセンターにつなぐことで利用の機会をつくる。
- 長期的な支援策を検討するためのニーズ把握
定期的な困りごとや不安の聞き取りにより、変容するニーズを把握し、継続的かつ適切な支援策の検討・立案に役立てる。
- 将来の多文化共生社会を担う人材育成
大学生や留学生等がこの事業に携わることで、人材育成につなげる。

2-2 活動地域の選定

本事業の取組みを通じて、より多くの外国人県民等に必要な情報を届けるため、主な活動地域として外国人人口の比率が2%以上の市町を中心に活動しました(表1)。

表1：外国人人口の比率が2%以上の市町(2020年12月末現在)

市町名	外国人 人口 (人)	総人口 (人)	外国人 比率 (%)	上位4国籍(人)							
湖南省	3,317	55,061	6.02%	ブラジル	1,531	ベトナム	566	ペルー	356	韓国・朝鮮	277
愛荘町	975	21,419	4.55%	ブラジル	560	ベトナム	124	フィリピン	120	ペルー	55
甲賀市	3,816	90,197	4.23%	ブラジル	1,515	ベトナム	629	中国	397	フィリピン	350
東近江市	3,940	113,642	3.47%	ブラジル	1,535	ベトナム	834	フィリピン	378	中国	368
長浜市	3,656	116,840	3.13%	ブラジル	1,721	中国	501	ベトナム	468	フィリピン	260
日野町	682	21,304	3.20%	ブラジル	267	ベトナム	210	フィリピン	45	中国	40
豊郷町	220	7,348	2.99%	ブラジル	100	ベトナム	45	中国	28	フィリピン	26
彦根市	2,838	112,546	2.52%	ベトナム	726	中国	566	ブラジル	506	フィリピン	454
草津市	2,971	135,850	2.19%	中国	1,025	ベトナム	553	韓国・朝鮮	478	フィリピン	184
栗東市	1,448	70,362	2.06%	ベトナム	354	ブラジル	272	中国	232	韓国・朝鮮	215
県全体	33,076	1,418,838	2.33%	ブラジル	9,039	ベトナム	5,903	中国	5,241	韓国・朝鮮	4,322

※滋賀県総合企画部国際課調べ

2-3 みみタロウキャラバン隊メンバー

本事業では、海外からの留学生をはじめ、外国にルーツを持つ若者や海外への留学経験者、新型コロナウイルスの影響で一時帰国中の JICA 海外協力隊員など多方面に参加を募りました。その結果、合計 20 名が参加し、出身国やルーツのある国、母国語、第 2・第 3 言語など、それぞれの異なる背景を活かして、活動に不可欠な多言語対応を可能にしました。

メンバー背景概要

JICA 海外協力隊員 5 名、県内留学生 8 名、外国にルーツを持つ青年 4 名
その他（日本人ボランティア、外国人県民等） 3 名

出身国、ルーツのある国

中国、日本、ブラジル、モンゴル、フィリピン、インドネシア

メンバーが対応可能な言語

英語、ポルトガル語、スペイン語、中国語、タガログ語、インドネシア語、モンゴル語、ネパール語、カンボジア語、ラオス語

全 10 言語

みみタロウキャラバン隊 メンバー一覧（敬称略、順不同）

《チーフ隊員》＊8月4日～チーフ配置

東 颯馬（日本）

担当言語：ポルトガル語、英語

所属：JICA 海外協力隊/日系社会ボランティア/ブラジル派遣/野球

樋口 愛美（日本）

担当言語：ラオス語、カンボジア語

所属：JICA 海外協力隊/ラオス/コミュニティ開発

《メンバー》

田中 翔太（日本）

言語：日本語

所属：Butte College（アメリカ）

^{チョウ}張 [Xian]（中国）

担当言語：中国語

所属：立命館大学報理工学部

陳 冬艷（中国）

担当言語：中国語

所属：聖泉大学人間学部社会学

森嶋 沙織（フィリピン）

担当言語：タガログ語、英語

龍谷大学国際文化学部大学院課程

スフバト バイガル
Sukhbat Baigal (モンゴル)

担当言語：モンゴル語

所属：滋賀県立大学人間化学研究科大学院課程

ムハマッド ヌズライ (インドネシア)

担当言語：インドネシア語

所属：未来ヌサントラ送り出し機関

田上 史也 (日本)

担当言語：ネパール語

所属：JICA 海外協力隊／ネパール／青少年活動

他、11名

- ※1 担当言語順、また、氏名・所属等は本人の希望によるもの、また、掲載の承諾をしていただいた方のみ掲載しています。
- ※2 JICA 海外協力隊員は、新型コロナウイルス感染症拡大を受けて一時帰国したため、国内待機中・待機中の任期終了または辞退など、各人により状況が異なります。一覧内の情報は、一時帰国時(2020年3月または4月)のものを掲載しています。



「みみタロウキャラバン隊」メンバー ユニフォーム

活動当初はユニフォームがなく、外国人県民等に声をかけると不審がられることも多々ありました。そこで、当協会相談センターが一目で分かるユニフォームを制作。これを着用してから、活動がとてもスムーズになりました。

ユニフォームの印字言語がない場合や、2言語以上対応ができるメンバーは、言語の缶バッジを付けて活動しました。

2-4 初期の活動（6月4日～7月20日）

6月4日より第1回目の活動を開始し、7月20日までに、市役所や福祉施設を含む10か所で啓発活動を実施しました。主な活動内容は次の通りです。

- 特別定額給付金などの申請手続きや窓口での通訳補助
- 外国人県民等などが求める支援などに関する対面調査
- しが外国人相談センターの宣伝および利用促進
- 施設周辺の外国人経営飲食店・スーパーなどへの啓発活動と啓発パンフレット設置依頼

発足当初、最も重要度の高い活動は、特別定額給付金の申請書の記入補助でした。新型コロナウイルス感染症拡大を受けて、4月27日付けで住民台帳に記載されている全ての住民が対象となり特別定額給付金が配布されることになりましたが、話すのは得意でも日本語の読み書きが難しいといった外国人県民等にとって手続きは容易ではなく、多言語で対応できる体制が必要だと考えられたためです。

その他、ブースでの主な相談内容は、児童手当や緊急小口資金、家賃支援給付金制度、雇用保険、年金受給申請、税金の支払い猶予、教育資金（奨学金申請）などの各種制度に関する問い合わせといった、金銭面での支援を求める声が大半を占めました。そのほか、帰国困難者の滞在許可、求職、住宅探しなどについての相談も寄せられ、滞在期間や滞在理由に関わらず、コロナ禍の影響を受けて生活に困窮している現状が浮き彫りになりました。



ブース設営の様子（6月23日 愛荘町役場）

2-5 新たな課題

先述の活動を通じて、みみたろうキャラバン隊としての2つの課題が明らかになりました。

まず、ブースを設置した施設に相談者が直接来所することが難しいということです。活動開始当初は、5月25日に緊急事態宣言が解除された直後であり、国や自治体から自粛の継続を求められたほか、県境をまたぐ移動や都市部から地方への移動の制限や、不特定多数の人が利用する交通機関の利用を避け、不要な外出をしないよう呼びかけられていました。また、ブース設置場所に合わせ平日の昼間に活動が限定されることで、就業者の来所が難しいということも課題として挙げられました。

もう一つは、みみたろうキャラバン隊自体が新しい試みであったため、ブースの設置だけでは活動の周知が難しいということです。各施設への訪問日時や内容についてSNSやWebサイトを通じて発信したとしても、ターゲットである外国人県民等に確実に情報を届けられず、訪問者の増加には繋がりにくいという現状を改善する必要がありました。

この二つの課題に加え、特定定額給付金の受給申請自体が8月中旬に終了したため、当初の主な活動目的であった申請補助の需要がなくなりました。みみたろうキャラバン隊は、2021年2月までの事業として発足したため、初期の活動によって現認した課題解決をすべく、活動内容を変遷させていくこととなりました。

2-6 その後の活動（7月21日～11月29日）

その後、11月29日のキャラバン隊活動終了までの期間は、初期の活動から見えた課題解決策に向けて、様々な活動に取り組みました。これに伴い、主な活動目的を各種支援制度の紹介や申請の補助などの直接的な支援から、『しが外国人相談センター』の周知などの啓発活動に切り替え、活動地域も拡大しました。

当協会が開設している『しが外国人相談センター』は、多言語対応の相談窓口で、主に滋賀県に住む外国人県民等を対象としており、労働、医療、教育など、複雑かつ複合的なさまざまな問題に対して、各専門機関との連携を図りながら幅広くサポートしています。

この相談窓口は電話での相談も受け付けているため、キャラバン隊のブースへの来所が難しい方でも利用できるほか、周囲に支援を必要としている方が居られる場合や、将来的に何らかのサポートが必要となった場合のために、気軽に母国語で相談できる機関があるということを周知したいという狙いもあります。

そこで、できるだけ多くの外国人県民等をはじめ、滋賀県民に向けて発信できる場所として、県内各地にあるショッピングモールや外国人が多く集まる日本語学校、外国人経営の飲食店やスーパーなども派遣先の対象としました。そして、より効果的に啓発活動を行うために3つの活動形態を用意し、派遣先に合わせてさまざまな活動を実施しました。主な活動場所と活動内容を次に記します。

相談窓口の設置、啓発活動

会 場： ショッピングモール、役場、
市民交流センターなど

内 容： 施設内に相談ブースを設置し『しが外国人相談センター』などのリーフレット配布、『外国人県民等に対する新型コロナウイルス感染症による影響について』のアンケート調査、日常生活での悩みの聞き取り調査などを行いました。



資料配布（10月25日 イオンタウン彦根）

外国人県民等向けの行事での啓発活動

実施場所： 日本語教室、
日系人向け就労説明会など

内 容：『しが外国人相談センター』などのリーフレット配布、『外国人県民等に対する新型コロナウイルス感染症による影響について』のアンケート調査などを行いました。



資料配布（9月12日 日本語交流教室
「たんぽぽ」[近江八幡]）

県内の店舗巡回

実施場所： 県内のスーパー、飲食店など

内 容： 外国人経営、または外国人客の来店が予想される店舗を中心に巡回しました。コロナ禍での経営状況や生活面での変化、来店する外国人客の様子などの聞き取り調査のほか、『新しい生活・産業様式確立支援事業』をはじめとする各種助成金・給付金などのリーフレット配布、『しが外国人相談センター』の案内、『外国人県民等に対する新型コロナウイルス感染症による影響について』のアンケート調査などを行いました。また、来店者向けのリーフレット設置をお願いし、一人でも多くの方に周知できるよう地域の方々にご協力いただきました。



巡回（11月28日 スキナブラジル東近江）

2-7 啓発活動での配布物

みみタロウキャラバン隊の啓発活動では、外国人県民等向けの支援をはじめ、コロナ感染症の疑いがある場合や災害時の対応など、有事のための情報についても同時に提供しました。啓発活動で主に利用したリーフレット、資料は以下の5種類です。

- しが外国人相談センター（啓発用パンフレット/当協会）
- 「みみタロウ」136号・137号（外国人向け情報紙/当協会）
- 緊急時の心得（手ぬぐい/当協会）
- できることから地震対策!!～そなえれば地震はコワクナイ～(冊子/当協会)
- 新型コロナウイルス感染症対策（ちらし/厚生労働省）



加えて、全国的な品薄によるマスク不足への対応策として、マスクの配布も同時に行いました。このマスクは、滋賀県総合企画部国際課が台湾から寄付されたものを、多くの外国人県民等にお渡ししたいと当協会へ寄贈されたものです。

啓発活動を通じて外国人県民等から直接話を聞く中で、日本語の習得状況や所属しているコミュニティによっては、マスクの販売状況に関する情報を入手することや、マスクの着用が強く推奨されていることを理解するのが難しい場合があると明らかになったため、活動開始から8月下旬頃まで継続して配布を行いました。

その他、日本語教室の開講案内や国勢調査のお知らせなど、関係各所が発行した多言語対応のパンフレットを、被啓発者の使用言語に応じて配布しました。

3 具体的な活動内容と活動の成果

本事業では、みみタロウキャラバン隊を、6月4日から11月29日の最終日に至るまで、のべ52日間にわたり、各市町に派遣しました。その活動の詳細を以下に記します。

3-1 活動形態別活動回数

各市町への派遣回数53回のうち、派遣先施設内にブースを設置し啓発活動を行ったのは①ブース設置（公共施設）と②ブース設置（商業施設）の合計41回でした。そのほか、日本語教室などへの訪問（6回中2回は同日開催のため重複）と進路ガイダンスを合わせて派遣日数の合計は52日、それらに付随して近隣の店舗や国際交流団体などを巡回した回数は合計113回となりました。

表2：活動形態別の実施回数

活動形態	実施回数	リーフレット配布枚数
①ブース設置（公共施設）	18回	247部
②ブース設置（商業施設）	23回	431部
③店舗巡回	113回	1388部
④日本語教室などへの訪問	6回	159部
⑤進路ガイダンス	2回	配布なし
⑥その他（持ち帰り、配布委託など）	7回	200部

3-2 地域・市町別啓発数

ブースを設置した市町、巡回店舗の所在地ごとの配布枚数の合計は以下の通りです。全市町で外国人人口の比率が2%以上の市町（『2-2 表1：外国人人口の比率が2%以上の市町(2020年12月末現在)』参照）を太字で示しました。

表3：市町ごとの啓発リーフレット配布部数

地域名	市町名
湖北地域 合計 595部	長浜市 512部、米原市 83部
湖南地域 合計 1,244部	栗東市 10部、 湖南市 725部、 甲賀市 101部、 守山市 95部、 草津市 138部、大津市 106部、 日野町 49部、野洲市 20部
湖西地域 合計 20部	高島市 20部
湖東地域 合計 616部	愛荘町 50部、近江八幡市 110部、 東近江市 91部、 彦根市 347部、 豊郷町 8部、竜王町 10部

※関係者の持ち帰り等による配布先不明分97部を除く

このように、外国人人口の比率が2%以上の10市町すべてを網羅し、なおかつその他のほとんどの市町でもいずれかの活動形態により啓発活動を行うことができました。

これらの啓発実績のうち、表1で示した10市町の外国人人口に対する啓発達成率は次の通りです。

表4：外国人人口の比率が2%以上の市町での啓発達成率

市町名	啓発数（人）	外国人人口（人）	啓発達成率	活動回数
長浜	512	3,656	14.00%	35
栗東	10	1,448	0.69%	1
湖南	725	3,317	21.86%	18
甲賀	101	3,816	2.65%	10
草津	138	2,971	4.64%	10
日野	49	682	7.18%	6
愛荘	50	975	5.28%	5
東近江	91	3,940	2.39%	7
彦根	457	2,838	16.04%	24
豊郷	8	220	4.06%	8

表内の活動回数は、ブース設置もしくは地域の店舗などの巡回によって啓発活動を行った回数の総数であり、外国人県民等が住民票を置いている地域で必ず啓発を受けたとは断定できないものの、活動回数が多い地域ではある程度の啓発が達成できたことがわかります。

一方で、全市町に住む外国人人口 33,076 人（滋賀県,2020）に対しての啓発達成率は、7.78%にとどまりました。手渡しによる普及活動では『しが外国人相談センター』を知っていると答えた対象者は無く、留学生や技能実習生など、在留目的によっては外国人県民等の滋賀県滞在は流動的になりうるため、引き続き有事の際のホットラインとして普及を継続する必要性が明らかになりました。ただし、本事業での啓発活動が要因となり『しが外国人相談センター』への相談件数が増えたのは先述の通りであり、また外国人経営の店舗や日系の派遣会社など、地域レベルの外国人コミュニティでの情報源となりうる長期滞在者、また外国人県民等と関わる機会のある地域住民に向けて周知できたことは大きな成果であると考えられます。

3-3 商業施設での啓発活動における国別パンフレット配布枚数

商業施設で行った啓発活動のなかで、キャラバン隊がパンフレットを直接手渡しして啓発活動を行った施設利用者を対象に、出身国またはルーツのある国を調査しました。本調査は、9月17日から11月29日の間で17日間行い、5か所の商業施設において515人を対象に行いました。

グラフ 1：国別パンフレット配布枚数

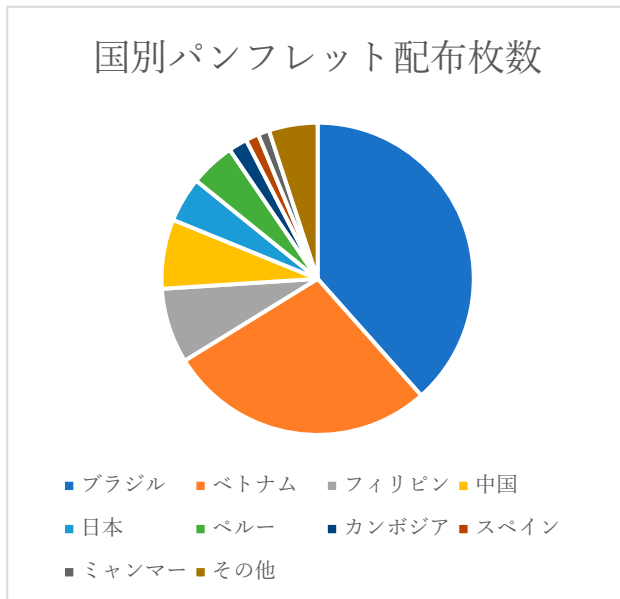


表 5：国別パンフレット配布枚数

国	配布枚数	構成比率
ブラジル	198	38.45%
ベトナム	143	27.77%
フィリピン	40	7.77%
中国	37	7.18%
日本	24	4.66%
ペルー	24	4.66%
カンボジア	10	1.94%
スペイン	7	1.36%
ミャンマー	6	1.17%
その他	26	5.05%
合計	515	—

※1 合計 5 人以下の国は「その他」に含めています。内訳は、アメリカ合衆国(1)、インドネシア(5)、スリランカ(5)、タイ(4)、ネパール(3)、バングラデシュ(2)、ボリビア(1)、マレーシア(3)、台湾(1)、不明(1)です。

※2 パンフレットの受け取りを断られた場合や、それまでの活動で既に啓発を受けていた方への啓発を除きます。

3-4 相談ブースの詳細と相談内容

相談ブースでは、当日のキャラバン隊メンバーの中に共通言語の話者がいる場合はメンバーが通訳に入り、そうでない場合は『しが外国人相談センター』や三者通訳のサービスを利用し、どの言語に対しても柔軟に対応できるよう体制を整えました。

各施設派遣時にブースで受けた相談件数は、合計 55 件で、活動中に受けた簡単な内容の相談や、『しが外国人相談センター』への電話・来所を促した相談、店舗巡回時の相談などを含めると倍以上になります。それらのほとんどが新型コロナウイルス感染症拡大に起因しており、失業や経済困難、それに伴う教育、医療、生活面での悩みなど、複合的な相談が多く寄せられたほか、技能実習生が帰国困難になったことや、それに伴う在留期間の延長に関する問い合わせもありました。

商業施設・公共施設共に、事前に告知してくださった場所では、相談を目的に来所された方もいらっしゃるほか、人目につきやすい場所にブースを設けた施設では、1 回目の活動でみみタロウキャラバン隊のことを知り、その後同じ場所で開催した際に相談者を連れてきてくださったケースも見られました。

以下、活動中に寄せられた相談や、滋賀県在住の外国人県民等の生の声を一部抜粋してご紹介します。

- ・自分の国に帰りたいが、商業便が飛んでおらず、帰ることができない。また、なんとか帰ることができたとしても、自主隔離や PCR 検査などの費用が高額で、自分で負担することが難しい。
- ・日本での仕事は既に終わっており収入が無い状態で、在留資格も失効するが、在留期間の延長も

国に帰る事もできない。

- ・日本に来て派遣の仕事をしていたが、新型コロナウイルス感染症拡大により契約が打ち切られて無職になってしまった。この状況下で新しい仕事を探すのも難しい。
- ・年金や国民健康保険などの制度や、特別定額給付金や各種支援に関する制度について日本語で理解するのが難しく、また手続きの方法も分からない。
- ・仕事のために日本語の能力を高めたいが、どこに行けば教えてもらえるかわからない。
- ・留学生や技能実習生として団体で日本に来る人たちはコミュニティがしやすいが、単身で出稼ぎに来る外国人にとっては大変ハードルが高く、孤立しやすい傾向にある。自分は在住歴が長く、日本語もある程度話せるのである程度のことは自分で解決できるが、そうでない人たちはこの状況下で生活に貧窮していると聞いており心配である。

このように、日本語の読み書きが壁となってサポートが受けられないことや、外国人同士・対日本人とのコミュニティが形成できず情報格差が生じている現状が伺えます。みみタロウキャラバン隊はこれらの相談に対し、その場で情報を提供したり、しが外国人相談センターに繋いだりと、内容に応じて対応しながら活動を行いました。

3-5 店舗巡回

店舗巡回では、外国人が経営している飲食店やスーパーマーケット、また外国人が集まることが予想される同様の店舗を中心に啓発活動を行いました。

店舗巡回時には、訪問の趣旨とみみタロウキャラバン隊、しが外国人相談センターの説明を行い、外国人の来店者がある店舗に対してはパンフレットの設置を依頼しました。可能な限り使用言語を特定してキャラバン隊を派遣することで、コロナ禍における店舗の経営状況や生活面での心配ごとなどを詳しく調査しました。

実際に巡回を行った県内 113 店舗のうち、外国人が経営していると確認された飲食店、または特定の国の料理を取り扱う日本人経営の飲食店は、県内に 62 店舗、スーパーマーケットは 4 店舗、合計 66 店舗でした。これらの店舗への巡回回数は合計 101 回で、1 店舗あたりの平均巡回回数は 1.5 回、パンフレットの配布部数は合計 891 部となりました。これらの巡回実績は下記表 6 のとおりです。

表 6：国別の巡回実績

国	店舗数	訪問回数	配布部数
インド・ネパール	26	33	309
インドネシア	1	1	10
タイ	4	6	45
ブラジル	10	21	200
ベトナム	2	4	42
中国・台湾	23	36	285
合計	66	101	891

相談を受けた店舗に対しては複数回に渡って巡回を行い、課題解決に向けての動きや店舗の経営状況の変化などについて毎回聞き取り調査を実施しました。また、1度目の訪問で特にサポートが必要でなかった店舗に対しても、設置してもらったパンフレットの追加のために足を運びました。店舗にスタッフが複数名いる場合、一度の訪問で従業員全体に周知することは難しく、実際に数回目の訪問で初めて本活動を知った方から相談を受けるといったケースもあったため、定期的な巡回の必要性を感じました。

巡回を担当したキャラバン隊メンバーの中には、同国出身の外国人県民等に対して、支援金・助成金・奨学金などの各種制度の説明にあたった者もあり、日本語を学び日本で生活する難しさを知る同じ外国人として、さらに寄り添った支援ができました。多いところでは合計4回の巡回を実施した店舗もあり、1回目の巡回では「コロナ禍における経営状況の悪化で生活がひっ迫している」という相談を受けましたが、キャラバン隊活動終了の報告をかねた4回目の巡回では、何とか少しでも状況を良くしようと、前向きに創意工夫されている様子をうかがうことができました。

他にも、日本人経営の店舗では、「地域の外国人が、特定のコミュニティに属している様子がなく、孤立していないか心配である」といった声が聞かれ、パンフレットを店内に置いてくださったケースもありました。店舗従業員の国籍や店舗の客層にかかわらず、地域に根差したさまざまな店舗とのネットワークを広げることで、直接手渡しによる啓発ができなかった外国人県民等に対して『しが外国人相談センター』の周知に繋がりました。

3-6 滋賀県在住の外国人県民等の声

みみタロウキャラバン隊は、約半年間の活動期間中、店舗巡回での聞き取り調査やブースでの啓発活動などを通じて、外国にルーツを持つ多くの方と関わりました。先述した通り、本事業自体が新型コロナ感染症拡大を受けて始まった初めての試みであったため、自らブースに足を運んでくださる方はほとんど見られませんでした。啓発活動中での母国語での会話や、巡回店舗の方と関係を深める中で相談に結び付くケースが多く見られ、目の前の方に直接情報を届けるという地道な活動を続ける意義が感じられました。以下に、活動中にいただいたフィードバックの一部をご紹介します。

<ブースでの啓発活動>

- ・突然話しかけられてびっくりしたが、母国語で話ができると思わず、とても嬉しかった。また、しが外国人相談センターについても、何かあったときに相談できる場所を知ることができてよかった。
- ・国際協会のことは知っているが、コロナ禍で大津（当協会所在地）まで出向くのが難しかったので、近くで相談ができてありがたい。

<店舗巡回>

- ・同じ母国語の人と話ができて嬉しかった。また、何度も店に通って、その都度お店の状況や申請状況を聞いてくれたので、安心して話ができた。
- ・コロナ禍でどう生活していけばいいか検討もつかないなか、店に何度も様子を見にきてくれて嬉しかった。この活動がなくなることが悲しい。

ブースでの啓発活動や店舗巡回では、言葉の壁を取り払うことで安心して話してもらえたほか、母国語だからこそできる一歩踏み込んだコミュニケーションによって関係性を築き、相談しやすい環境を整えることができました。

一方で、『表 1： 外国人人口の比率が 2 %以上の市町(2020 年 12 月末現在)』で明らかになったように、ベトナム人の人口は県内のどの市町においても 2%以上を占めていますが、今回集まったキャラバン隊メンバーの中にベトナム語話者はいませんでした。このように、実際に啓発活動を行う中、共通言語を持たないコミュニケーションによって、活動の趣旨や当協会が提供できるサポートについて正しく伝わったかどうかは不透明な部分でもあります。メンバーがベトナム人の知人に翻訳を依頼し、それを紙に書いて読んでもらったり、ベトナム語版の資料を見てもらったりと試行錯誤を重ねましたが、“買い物中に突然外国人から話しかけられる”ということに驚くのは当然であり、メンバー自身、警戒心を解いて話ができただけの方は少数に限られたように感じています。

その他にも、ブースに立ち寄っていただいた、もしくは巡回させていただいた店舗・施設の日本人の方からは、以下のようなフィードバックが寄せられました。

- ・近くに住む外国人の方が孤立していないか、ずっと気になっていた。国際協会のことを知らなかったが、母国語で相談できる場所があれば安心だと思うので紹介しようと思う。
- ・公共施設に勤めているが、外国人の方が来られることがあるため、多言語の情報を配布したい。
- ・知り合いに外国人がおり、個人的に生活のサポートを行っているが、病院や諸手続きなどは言語の壁があり、全てを手伝うのが難しい。その時に相談できる場所、サポートしてもらえる場所を知りたい。

このように、日本人にとっても、地域コミュニティや職場の中で外国人とどう接していくかは課題であり、外国人人口増加に伴ってこうした課題も更に増えていくことが予想されます。この活動で得られた県民の声からも分かるように、多言語対応が可能な窓口を設けている当協会の認知度向上のターゲットは、県内の外国人県民等にとどまらず、日本人も対象にすることが不可欠であると考えられます。

4 外国人学校の生徒向けキャリア教育 (2020 年 11 月 6 日、11 月 20 日)

先述の活動以外に特筆すべきこととして、ブラジル人学校の生徒向けにキャリア教育を実施しました。

滋賀県在住の外国人の中で、ブラジル人の比率は約 28%と最も高く、2 世代、3 世代に渡って家族で日本に暮らしている場合もあります。しかし、日本語を学ぶ機会が得られず十分な教育が受けられなかった結果、将来の夢があったとしても日本や自国でのキャリア形成がうまくいかず、限られた選択肢の中から選んで仕事に就かなければならないといった現状が見受けられます。そこで、県内のブラジル人学校の 12 歳から 17 歳の生徒を集め、2 日間にわたってキャリア教育を実施することになりました。

1 日目は、最終学歴や雇用形態、保険、年金加入の有無によるシミュレーションをゲーム形式で

学び、2日目には、職業適性検査や職業研究を通じて視野を広げ、キャリア形成の基盤づくりをサポートしました。その後は、同じルーツを持つキャラバン隊メンバーの講話や、国際色豊かなキャラバン隊メンバーとの座談会を行いました。

参加した生徒からは、「初めて聞く名前の職業があり、新鮮だった」「海外に行った人や日本に来た人の話を聞いて、自分も海外に行ってみたいと思った」「適性検査で、自分になりたい職業と違う仕事に向いていることが分かり、視野が広がった」といった感想が寄せられました。

このように、仕事に対する視野を広げ、自分自身の将来のビジョンを明確に描くことで、それを実現するための早期のキャリアパス形成の必要性について考えるきっかけとなりました。またその一方で、日本の教育機関への編入や進学が難しいために、本人の意志に関わらず将来の選択肢が少なくなってしまうことや、将来的に母国に帰ることが前提になっているため十分な教育が受けられていないといった、在住外国人ならではの課題も垣間見えました。



5 みみタロウキャラバン隊メンバーへのアンケート調査

みみタロウキャラバン隊のメンバーは、外国に関わりのある大学や関係各所を通して募集し、海外からの留学生や外国とのルーツのある外国人県民等、また、海外での留学・就労・ボランティア経験のある県民等、さまざまな背景や外国との関わりをもつ若者が集まりました。実際のところ、キャラバン隊メンバーとして活動に参加したのはのべ20名で、全活動を通じて合計216回(日)の活動機会があり、一人あたり平均約11日間、活動日数の多いメンバーで最大40日以上参加しました。さまざま活動形態を通じて外国人県民等との関わりを持ち、地域ごとの特徴や、来日目的、就業・就学状況によって異なる悩みや不安を直接聞くことで、自分たちに何ができるか、次回はどんなふうに声をかけたらより心を開いてもらえるかを、それぞれの立場で考え、共有しながら、活動に取り組んできました。

本事業発足時に掲げた4つの『目指す成果』には、外国人県民等に対する直接的な支援だけでなく、将来の多文化共生社会を担う人材育成も含まれています。この成果を測るため、キャラバン隊メンバーに対してアンケートを実施しました。その中から一部抜粋したものを紹介します。

5-1 活動に参加したきっかけ

- ・JICA 海外協力隊として海外でボランティア活動していたが、一時退避になり日本に帰国した。
任国で親切にしてもらった恩返しとして、日本に居る外国人の方のサポートがしたいと思った。

- ・友人が、みみタロウキャラバン隊として活動している様子を SNS で見て、自分も参加したいと思った。
- ・滋賀県はブラジル人が多いので、ポルトガル語の通訳として役に立てると思った。
- ・募集要項を見た友人から推薦を受け、母国語である中国語を活かして活動したいと思った。

5-2 活動で印象に残っていること

- ・未曾有の事態で外国人にとっても大変生活しづらい中での活動だったので、まずは信頼関係を築けるように丁寧なあいさつを心掛けた。その後、啓発活動や聞き取り調査などを行い、最後には笑顔を見ることができ、充実した活動になった。
- ・啓発活動を行ったある方から、「もう少し早くあなたたちの事を知りたかった。そうすれば、少し前に抱えていた悩みについて相談し、もっと良い解決方法があったかもしれない。」と言われたことがあった。他にも同じ状況の人が居るかもしれないと思い、一人でも多くの人に届けたい気持ちになった。
- ・メンバーは皆それぞれ異なるバックグラウンドがあり、この活動に対して強い想いがあることでとても刺激になった。

5-3 活動を通して感じた地域課題

- ・日本での生活を手助けしてくれる友達（日本人、同郷の人に限らず）がおらず孤立している人が多い。
- ・外国人への対応に慣れていない人も多いと思うので、留学生や外国にルーツがある人たちが集まって行動を起こさなければならないと感じた。
- ・滋賀県への外国人転入者に対して、有益な情報をタイムリーに伝える手段が必要。例えば、今回キャラバン隊で配布した資料は、移住時に協会のことを知ってもらうために役立つものであり、しが外国人相談センターの利用を促進するためにも、最初に存在を知ってもらうことが肝心である。

5-4 今後に活かしたいこと

- ・この活動を通じて、たくさんの人に出会うことができた。他国の人や、外国にルーツのある人とも交流でき、異文化交流や多文化共生についても自分の実体験から多くの学びを得た。
- ・活動当初はかなり人見知りをしてしまったが、ほかのメンバーの様子を見て、人との会話の仕方や、共通言語をもたない人への接し方について学び、回数を重ねるにつれて打ち解けるまでの時間が短くなったように感じる。今後、人と接する時にも、このコミュニケーションの取り方を心掛けたい。
- ・生活に困っている人たちと直接話し、今まで知らなかった地域課題や外国人特有の問題について触れた。自分は今学生なので、もっと勉強に励んで将来的にサポートしていきたい。

このように、活動を通じて外国人県民等の声を直接聞く中で、ひとりの県民として自分に何ができるのか、また、地域や県として何をしていくべきなのかといった当事者意識を常に持ちながら、一人でも多くの方に活動を届けようと取り組みました。

キャラバン隊メンバーの状況はそれぞれ異なりますが、日本在住のメンバーは自分自身の暮らし

キャラバン隊メンバーの状況はそれぞれ異なりますが、日本在住のメンバーは自分自身の暮らしと重ね合わせて考え、海外在住経験のあるメンバーは自分が外国に住んでいたときの経験を思い出しながら、それぞれの形で寄り添い、それらの経験をメンバー間で共有することでさらに良い活動ができたのではないかと思います。

6 おわりに

みみタロウキャラバン隊は、各市町をはじめ、福祉施設、国際交流団体、ショッピングモールやスーパーなど、多くの施設・団体の協力を得て、5 カ月間にわたって活動を行って参りました。人が集まることを避けなければならない、刻一刻と変化する感染症対策の対応にも追われた厳しい状況の中で、滋賀県に住む外国人県民等の置かれた状況に理解を示し、ブースの設置や訪問を快く受け入れてくださった関係各所の皆様には、心よりお礼申し上げます。

本事業は、コロナ禍で日に日に状況が変化していくなか、1 日も早くと派遣を開始し、日々模索しながら取り組んで参りました。各地域や個人との繋がりを強固なものにしながら、滋賀県に住む外国人が現在直面している課題を明らかにして一人一人に寄り添った支援を実施できたのは、ひとえにみみタロウキャラバン隊を受け入れてくださった皆様のお力添えのおかげと深く感謝しております。

他方、みみタロウキャラバン隊のメンバーは、同じ地域住民として、同じ国出身の滋賀県在住者として、あるいは海外での暮らしでお世話になった恩返しとして、それぞれの立場で当事者意識を持って取り組んで参りました。海外とメンバーとを結びつける背景はそれぞれ異なりますが、コロナ禍において少しでも安心して滋賀県で生活できればという共通の思いのもと、来店者・施設利用者に一人一人声を掛け、外国人が集まりそうな店舗を探して一店一店巡回するという、地道な活動を続けました。滋賀県に住む外国人の方々の生の声を聞き、「何か少しでも手伝えたら」という気持ちと「限られたことしかできない」という現実にもどかしさを感じたかもしれませんが、それらの経験こそが、本事業が最初に定めた目指す4つの成果のひとつでもある『将来の多文化共生社会を担う人材育成』につながっていくと願ってやみません。

最後に、当協会は、滋賀県に住まうすべての方が安心して暮らせる活力に満ちた地域づくりを推進し、多文化共生社会の実現に向けて、より一層尽力していく所存です。今後とも、倍旧のご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

<ご協力>

愛荘町立愛知川公民館、愛荘町、甲賀市、甲賀市まちづくり活動センター「まる一む」、ながはま文化福祉プラザ（さぎなみタウン）、特別養護老人ホームさぎなみ会、長浜市社会福祉協議会、彦根市障害者福祉センター、日野町、米原市、米原市米原げんきステーション、米原市民交流センター（ルッチプラザ）、米原市多文化共生協会、守山市民交流センター、大津市瀬田東支所、イオンタウン彦根、イオンタウン湖南、イオン長浜店、イオンモール草津、アル・プラザ八日市店、フレンドマート山本店、西友甲賀店、SHIPS 日本語教室、愛荘日本語教室、八日市日本語教室、日本語教室オリーブ、日本語交流教室たんぽぽ「金田教室」、彦根国際交流会 VOICE（※順不同、敬称略）

参考資料

【参考資料1：みみタロウキャラバン隊活動実績一覧】

(2020年6月13日～2020年11月29日)

月日	曜日	施設名	隊員参加数
6月4日	木	甲賀市役所	—
6月13日	土	ながはま文化福祉プラザ（さざなみタウン）	2
6月18日	木	甲賀市まちづくり活動センター「まるーむ」	5
6月23日	火	愛荘町役場愛知川町舎	4
6月25日	木	守山市民交流センター	5
6月30日	火	大津市瀬田東支所	3
7月4日	土	守山市民交流センター	4
7月12日	日	彦根市障害者福祉センター	5
7月14日	火	米原市役所米原げんきステーション	2
7月20日	月	日野町役場	3
7月21日	火	イオンタウン湖南	3
7月22日	水	イオンモール草津	4
7月27日	月	日野町役場	3
7月30日	木	イオンタウン彦根	3
7月31日	金	愛荘町役場愛知川庁舎	3
8月4日	火	イオンタウン湖南	3
8月5日	水	イオン長浜店	3
8月6日	木	イオンタウン彦根	3
8月7日	金	イオンモール草津	4
8月18日	火	イオンタウン湖南	3
8月20日	木	イオンタウン彦根	3
8月21日	金	イオンモール草津	4
8月25日	火	イオン長浜店	3
8月26日	水	米原市民交流プラザ(ルッチプラザ)	2
9月4日	金	当協会事務所（一時移転先：滋賀県大津合同庁舎）	5
9月6日	日	八日市日本語教室 愛荘町国際交流協会日本語教室	4
9月7日	月	イオンタウン湖南	3
9月9日	水	イオン長浜店	3
9月11日	金	イオンタウン彦根	5
9月12日	土	ひこね国際交流会 VOICE 日本語教室 日本語交流教室「たんぽぽ」金田教室	4
9月13日	日	イオンタウン湖南	3

9月23日	水	イオンタウン彦根	5
9月24日	木	イオンタウン湖南	5
9月25日	金	イオン長浜店	5
9月27日	日	イオンタウン彦根	3
9月30日	水	米原市役所山東庁舎	3
10月1日	木	当協会事務所（一時移転先：滋賀県大津合同庁舎）	2
10月3日	土	日本語教室「オリーブ」等	3
10月9日	金	イオンタウン彦根	4
10月12日	月	イオンタウン湖南	6
10月16日	金	SHIPS 日本語教室等	3
10月17日	土	イオン長浜店	6
10月18日	日	イオンタウン湖南	6
10月20日	火	イオン長浜店	5
10月24日	土	観光案内交流施設 なないろ（日野駅舎内）	5
10月25日	日	イオンタウン彦根	6
11月6日	金	サンタナ学園	5
11月11日	水	当協会事務所（ピアザ淡海2階）	2
11月12日	木	当協会事務所（ピアザ淡海2階）	2
11月18日	水	イオンタウン湖南	6
11月19日	木	イオンタウン彦根	6
11月20日	金	サンタナ学園	5
11月25日	水	イオン長浜店	5
11月27日	金	八日市アル・プラザ	5
11月28日	土	八日市アル・プラザ	6
11月29日	日	フレンドマート山東店	3

延べ 216 人参加

【参考資料2：みみタロウキャラバン隊巡回先一覧】

(2020年6月13日～2020年11月29日)

スーパーマーケット

店舗名	所在地	国
Made in Brazil produto brasileiro	愛荘町	ブラジル
Pontobr Mercado	甲賀市	ブラジル
スキナブラジル湖南店	湖南市	ブラジル
スキナブラジル東近江店	東近江市	ブラジル
パトリアミンニャ草津店	草津市	ブラジル
パトリアミンニャ長浜店	長浜市	ブラジル

レストラン

店舗名	所在地	国
Agrim 草津	草津市	インド・ネパール
Asha	甲賀市	インド・ネパール
RAJU 草津	草津市	インド・ネパール
インド・アジアダイニング滋賀店	守山市	インド・ネパール
インド・アジアダイニング Santa	守山市	インド・ネパール
インド・アジアダイニング守山店	守山市	インド・ネパール
インド料理 Raju	高島市	インド・ネパール
インド料理パレス	草津市	インド・ネパール
インド料理ラジャス halal shiga	大津市	インド・ネパール
カレーハウス長浜店	長浜市	インド・ネパール
カレーハウス彦根店	豊郷町	インド・ネパール
サプナ長浜店	長浜市	インド・ネパール
サプナ彦根店	彦根市	インド・ネパール
スンドルインディア	草津市	インド・ネパール
タージマハルエベレスト瀬田店	大津市	インド・ネパール
タラ	東近江市	インド・ネパール
デリー彦根店	彦根市	インド・ネパール
ナマステ・タージマハル石山店	大津市	インド・ネパール
ナマステ・タージマハル草津店	草津市	インド・ネパール
ナマステ・タージマハル膳所店	大津市	インド・ネパール
ナマステプジャ野洲店	野洲市	インド・ネパール
バシュパティ	彦根市	インド・ネパール
パラティクレストラン近江八幡店	近江八幡市	インド・ネパール

パラティクレストラン桜宮店	近江八幡市	インド・ネパール
サヤーム・エラワン	東近江市	タイ
トゥクトゥク	彦根市	タイ
ヤム・タイ	長浜市	タイ
阿里山	彦根市	中国・台湾
オーパスワン	野洲市	中国・台湾
紅梅園	米原市	中国・台湾
台湾美食城	豊郷町	中国・台湾
長浜飯店	長浜市	中国・台湾
登龍門	長浜市	中国・台湾
久香亭	長浜市	中国・台湾
広盛園	栗東市	中国・台湾
福竜飯店	長浜市	中国・台湾
満源快餐館	彦根市	中国・台湾
龍鳳園高島店	高島市	中国・台湾
龍鳳園水口店	甲賀市	中国・台湾
龍華園	日野町	中国・台湾
龍鳳園近江八幡店	近江八幡市	中国・台湾
久香亭守山店	守山市	中国・台湾
好香再来趙さんのお店	大津市	中国・台湾
中華料理吉勝	大津市	中国・台湾
登竜門	長浜市	中国・台湾
鳳鳴春	彦根市	中国・台湾
味鮮	大津市	中国・台湾
龍鳳園竜王本店	竜王町	中国・台湾
雙喜	米原市	中国・台湾
聚福	湖南市	中国・台湾
Eldrado Lanchonate	長浜市	ブラジル
Oishidis	東近江市	ブラジル
Sandubas	湖南市	ブラジル
近江 Sampa	近江八幡市	ブラジル
ガウショ	湖南市	ブラジル
ブラザーフード	甲賀市	ブラジル
39 ベトナム	守山市	ベトナム
アンデップ	大津市	ベトナム
リンドゥバリ	大津市	インドネシア
チャーン	大津市	タイ

みみタロウキャラバン隊座談会

当活動の集大成として、みみタロウキャラバン隊参加メンバー5人に集ま
っていただき、次のテーマにより座談会を開催しました。

みみタロウ キャラバン隊 座談会

みみタロウキャラバン隊から参加者 5
人と、県と当協会の職員が参加してリ
モートによる座談会を開催
進行司会(写真左上):光田展子
(公財)滋賀県国際協会)
(写真右上):西村峻介
(滋賀県総合企画部国際課)

異文化社会での生活とは？ 日本の多文化共生に必要なことは？



多文化共生に必要なこととは何か？誰もが住みやすい滋賀県を作っ
ていくにはどうしたらいいのか？みみタロウキャラバン隊で活動されてい
るみなさんの中から、東颯馬さん、樋口愛美さん、スフバトバイガルさ
ん、張弦さん、森嶋沙織さんの 5 人に、オンラインで参加いただき異文
化社会での生活の違いや困ったこと、それを乗り越えたこと、また、日
本（滋賀）の多文化共生に必要なことについて語っていただきました。

<座談会出席者プロフィール紹介>

- ① 出身
- ② みみタロウキャラバン隊担当言語
- ③ 所属等
- ④ 海外経験・来日年数
- ⑤ 好きな食べ物
- ⑥ みみタロウキャラバン隊で
「私、役に立った」と思えた瞬間は？

文化、習慣の違いについて

戸惑ったこと、工夫したことは？

●外国で一市民として生活する際、いろいろな壁や
困難に直面することがあると思うのですが、自分
なりに工夫したことについて 教えてください。

張 日本で病院に行く時、レストランもですが、まず
電話で予約しないといけないところが多いことが疑問
ですね。それと、中国では電車内でも、大きな声で会
話していますが、最初日本に来たとき、どうしてみな
な何も話さないのかという気持ちがありました。また、
ゴミ捨てのルールに慣れるのも大変でした。

東 習慣や文化の違いはなかなか理解できない部
分はありますね。ブラジルで野球の指導をしていた
時も、集合時間に遅れてくるのが普通で、「それが文
化だから」と言われてしまうんですね。時間や礼儀の
指導をしに行ったつもりだったので、もやもやしたと
いうか、定着させるのがすごく大変だと感じました。

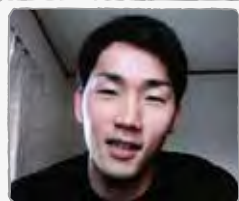
樋口 私が一番困ったのはお酒問題です。カンボジ
アではお酒が飲めないと言っても、「私たちのこと嫌
いですか」みたいに捉えられてしまったり、ラオスで
も「文化だから」という感じで押し切られて飲んだりし
た覚えがあります。日本だとアルコールハラスメントと
いう言葉もありますし、自分が飲めないというのもあり、
文化としてどこまで許容しなくてはいけないのか、
というのが一番悩んだところですね。

東 私もすごい量のお酒を勧められました。断り続け

ひぐち まなみ
樋口 愛美さん キャラバン隊チーフ



- ① 日本 ② ラオス語・カンボジア語
- ③ JICA 海外協力隊/ラオス(コミュニ
ティ開発隊員)/ビエンチャン県産業商
業局配属
- ④ カンボジア 2 年、ラオス 2 年
- ⑤ 蕎麦、東南アジア料理全般
- ⑥ ベトナム人技能実習生の方が日本
語教室の案内をしたお礼に、お花を買
って持ってきてくださったとき！



- ①日本 ②ポルトガル語・英語
- ③JICA 海外協力隊/日系社会ボランティア(ブラジル/野球隊員)/ドウラードス日伯文化体育協会 配属
- ④アメリカ3年、ブラジル1年9ヶ月
- ⑤パイナップル
- ⑥「日本人でポルトガル語を話せる人がいてよかった」とか、「助成金のことわかってよかった」と感謝されたとき！

ると「もうわかったわかった」という感じになっていきました。私の同期には、「お酒アレルギーだから」と、うまく逃げている人もいました。そんなふうには上手く切り返さないといけなそう思いました。

張 中国もお酒の文化はもちろんありますが、私はすごく弱いんです。最初は日本の酒の文化は比較的ゆったりしているはずだと思っていたので、日本で就職したいと思っていたのですが、何度か日本の飲み会に参加してみて、同じような問題があるように感じました。

バイガル モンゴル人はお酒が強いというイメージがありますが、日本に来てびっくりしたのは、日本人は仕事が終わって毎晩ビールを一本飲みますよね。それにびっくりしました。モンゴルではパーティーとか誕生日といった時だけで、毎日飲むような習慣はないです。

●お酒の問題はその国の習慣にもなっていて、難しいですね。そういうジレンマに悩むのが異国の地に行くと1、2ヶ月の頃だと思いますが解決策は見つかりましたか？

樋口 首都にあるドミトリー（宿泊施設）で先輩隊員に相談すると、「飲めないことでコミュニティに入っていけず、すごくジレンマを感じて悩む時期もあったけど、最終的に、本来の活動で信頼を築けたらいいと思って割り切っている」と教えてくれたんですね。その言葉で気づかされました。活動を頑張って、みな



- ①モンゴル ②モンゴル語
- ③滋賀県立大学人間化学研究科大学院課程
- ⑤ガリガリ君
- ⑥同じアジア人だけどあの人は絶対日本人じゃないぞ、というのが見分けられたとき！

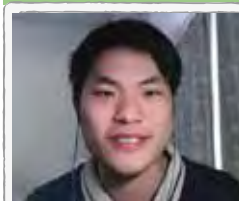
なと信頼関係を築こうと、日中の活動に注力するようになってからは、あまり（お酒のことは）考えなくなりました。

●ちょっとしたアドバイスでいい切り替えができたんですね。ところで、バイガルさんは「実習生」と「留学生」という別の立場で二度、日本に来られていますが、立場での違いはありましたか？

バイガル 私は2014年から2017年の間、愛知県で実習生として働いていました。実習生の時は何か問題があると組合が全て解決してくれましたが、留学生になるとアパートを探すことも、病院へ行くにも全部自分1人でしないといけません。ただ、実習生と留学生では日本人の接し方が違い、留学生の方がやさしく接してくれるんですね。とにかく、自分でできるところまでやってみて、頑張ってもできない場合は、他の人に助けを求めることが一番大事だと思いました。

●森嶋さんはフィリピンから日本に来られ、日本の小中学校の生活も経験していますが、日本人の接し方はどうでしたか？

森嶋 私はハーフということで、最初は珍しくて話しかけてくれていましたが、その後は中学に入ってもいじめを受けるようになりました。自分を守るために必要なのはまず日本語習得からだと思い、DVDを借りて毎日4時間ぐらい家で日本語を勉強しました。学校帰りには、看板が読めるまで帰らないというルールを自分で決め、日本人たちと毎日しゃべる機会も増や



- ①中国 ②中国語
- ③立命館大学情報理工学部
- ④来日6年目
- ⑤唐揚げ
- ⑥巡回のときお店に行くと挨拶して、笑顔をしてくれたとき！



- ①フィリピン ②タガログ語・英語
- ③龍谷大学国際文化学部大学院課程
- ④日本生まれで幼少期をフィリピンで育ち、千葉県で中学校卒業し来県。
- ⑤おにぎり
- ⑥「日本人ではなかなか気づけないことを森嶋さんの話で気づけた」と言われたとき！外国人の代弁になって役立つことができたとき！

しました。日本語ができるようになってからは、日本人の外国人に対する接し方には何か理由があるのだと思うようになり、日本の歴史を学び、国人に対する接し方には何か理由があるのだと思うようになり、日本の歴史を学び、自分から進んで勉強しました。みんな

んなが好きな話題をなるべくピックアップして友達の輪に入っていました。人間観察を無意識にしていたように思います。大学に入り、ありのままの自分を理解してくれる人もいるんだ、ということがわかるようになりました。

言語の習得について

「話す、聞く、読む、書く」の学習法は？

●確かに、海外生活で重要なのが言葉です。特に読み書きはとても難しいのですが、「話す、聞く、読む、書く」の4技能を皆さんはどうやって習得されていったんでしょうか。

東 私は海外協力隊でブラジル派遣になりました。言葉がよくわからなかったのので、できるだけブラジルの人たちと同じ時間を一緒に過ごすということを心がけました。この言葉は前も聞いた単語だと思うと、その場で調べてみたり、家に帰ってから調べたりすることで、みんなの話についていけるようになり、だんだん馴染んでいった印象があります。逆にアメリカ留学では読み書きの能力の方が上がっていきましました。高校を卒業してすぐにアメリカに行きなかなか友達ができなかったのでも机上での勉強をしっかりとっていたんですね。

樋口 私は海外で最初に行ったのがカンボジアでした。話さえできれば生活できると思っていましたが、家の契約書にサインするときに、何の書類かわからないのにサインしないといけないという怖い状況に立ち合い、読み書きの大切さを再認識しました。次のラオスには海外協力隊員として派遣前訓練で70日間200時間以上の授業を受けてから行きました。まず空港に着いて、あらゆる看板のラオス語が読め

たことにすごく感動しました。全く異なった(語学の)習得状況で2つの国に行き、識字できないことの不安と認識できることの喜びを実体験しました。

●張さんは漢字圏ですが、日本語と中国語の違いで困ったことはありますか？

張 私は漢字だけで内容を把握することができるので、日本語の正しい読み方は全く勉強していませんでした。ですから、漢字の訓読みや音読み等の読み方はすごく苦手です。言語は基本的にコミュニケーションのツールなので、読み方がわからなければコミュニケーションも取れません。今は反省して、わからない単語は調べるようにしています。

森嶋 私は漢字検定を受けています。合格して資格を得て褒められたりすることが励みになって、小、中学校の頃は興味津々で勉強していました。ただ、検定の漢字を日常で使うことはありませんでした。日本語には状況や立場によって、その言葉を使っているのか、失礼がないのかというのがすごく多いですね。日本語を上手に使えるようになったのは、大学に入って本を読み出してからです。

バイガル 私の場合、「困ったこと」は、日本語の本来の意味よりも「空気を読む」という能力ですね。例えば「また遊びに来てください」と言われたとき、本当に「遊びに来てください」と言っているのか、あるいはただの挨拶なのかを考えないといけません。

ストレスやホームシックなどについて

異国での生活をどのようにして楽しく過ごしていましたか？

●「空気を読む」というのも日本独特の文化かも知れません。こうした異文化の中でのストレスやホームシックなど解消するためには、どのようにして楽しく過ごされていたのでしょうか？

樋口 ラオスに赴任が決まったときは、日本の食材を持って行き、おやきや手打ちうどんを作り、日本人の

協力隊員とみんなで集まる時間を作っていました。任期が決まっている仕事なので、私自身は帰りたいとは思っていませんでしたが、逆に今、ラオスに対してホームシックになっています。不意にマンゴーのタルトを食べたときに思い出して泣いてしまいますね。

東 私はスポーツをしたり、旅行に行ったりしていましたが、似たような問題を抱えている同じ境遇の日本人と愚痴を言い合って、共感したりアドバイスをもらったりしたことが、一番のストレス発散でしたね。

制度について

どのような体制が整えば、生活しやすくなると思いますか？

●そんなみなさんの外国暮らしの経験から、どうすれば滋賀県が外国人の方にとっても生活しやすくなると思われますか？

バイガル 大学の先輩には幼稚園と保育園に行く子どもさんが2人いますが、2年間ぐらい待ってからようやく保育園に入れたんですね。それは問題だと思いました。それと愛知県で実習生の頃は1週間に1回、500円の参加費を払って日本人と外国人が英語と日本語で30分ずつ話すというクラブ活動がありました。旅行やパーティもあり、滋賀でも同じようなクラブ活動があるといいなと思っています。

樋口 日本語を生活に必要なレベルで話せるようになるというのは大事だと思っています。ですから、外国人技能実習生には日本語習得の機会を制度の中

に入れて欲しいと思っています。実習期間が終わって他の仕事を探そうとしても、日本語ができないために新しい仕事が見つからない実情があります。このまま、この制度の間口を広げても雇用の解決策にはならないと思いますね。

森嶋 外国人労働者として入れるようなビザもあればいいですね。外国人技能実習生は、そのままビザ変更をして滞在したいという方が多いと聞きます。「技能実習」の在留資格は帰国後母国に貢献しなくてはならないという条件があり、帰国後2年間は日本に戻れません。この制度には疑問がありますね。

東 制度ではありませんが、日本人でも役所に行っても何か書類の手続きをするときは、複雑ですごく難しい印象があります。それが留学生や実習生なら尚のことです。言語対応にプラスして、よりわかりやすくシンプルな漫画等で表現されたわかりやすい説明があればいいと思いますね。

今後5年間で必要なことについて

「多様な背景を持つ人が生活しやすい滋賀県」となるには？

●みなさんは、「みみタロウキャラバン隊」の活動で得た貴重な経験と情報を私たちに届けてくれました。最後に、この活動を通して「多様な背景を持つ人が生活しやすい滋賀県」となるには何が必要だと思いますか？ ご自分の背景や経験からの意見も含めてお話しください。

森嶋 今はコロナで海外との交流ができない状況です。日本人で海外に行きたいと思っている人たちに向けて、日本在住の外国人や外国人技能実習生と異文化交流の場を作りたいと思っています。日本人でも生きにくいと思う社会なら、日本人自身が声を上げることで、自然と外国人の問題にも取り組めるようになるのではないのでしょうか。

張 立命館大学にはBBP(Beyond Borders Plaza)という交流コーナーがあり、自国文化を紹介できる場があります。興味のある人が自由に参加でき、国の文化を知るだけでなく、コミュニケーションも交わすことができるので一例として紹介します。

樋口 国際協会の存在もキャラバン隊ですが、

「これ、知ってる？」と聞くと、そこではじめて認識されることが度々あります。新しいことをやるのも大事なのですが、今あるリソースの存在を知ってもらうことに力を入れるのも大事だと思います。また国際教育のワークショップも小学校や中学校の教育機関や、外国人を受け入れる企業で積極的に取り組んで欲しいですね。小さいうちに異文化の人たちと交流しておくことで、将来的にもっと受け入れやすい社会になっていくと思います。

東 日本での習慣が常識と勘違いしてしまっている人は、外国人との出会いがないことも原因です。そうした外国の人と関わりのない人に理解してもらうための多文化共生のイベントを開いて、バザーで異国のご飯を食べてもらうなどして、まずは日本人が異文化や多様性を理解することが必要だと思いますね。

バイガル 外国人を外国人として区別せずに行動する日本人、企業、社会であってほしいですね。

●誰もが住みやすい、生活しやすい滋賀県を作っていくためには、皆さんの声を聴くことと、お互いが理解し合う、そして、これらをより多くの人と共有していくことが大事なのだと思います。参加いただいたみなさん、ありがとうございました。

資 料 編

外国人県民等に対する新型コロナウイルス感染症による影響についてのアンケート集計結果

2020年5月22日～11月29日までに県内の外国人県民等を対象に、新型コロナウイルス感染症による影響についてのアンケートを実施しました。

※1 以下のデータは、回答者355名の回答を言語ごとに集計したものであり、回答者の国籍を特定するものではありません。

※2 未回答の場合は以下の集計には含みません。

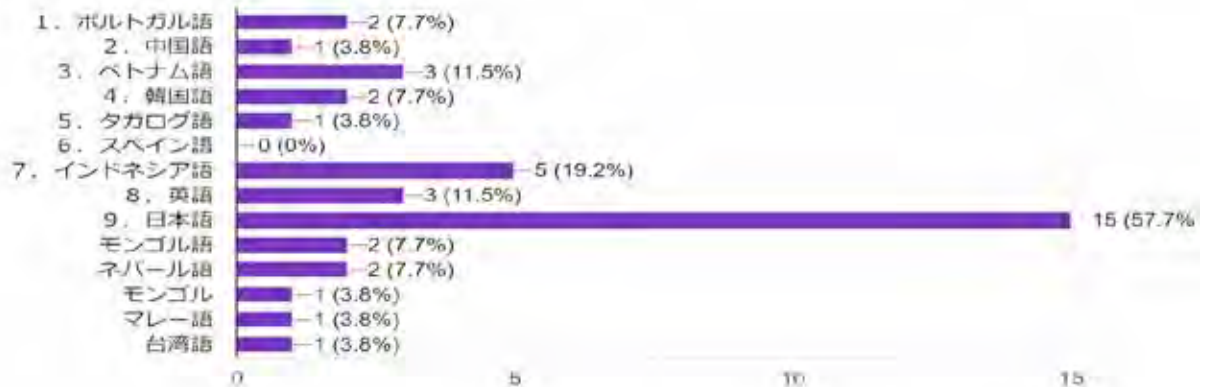
問1 どこに住んでいますか。(単位：人)

	スペイン語	タガログ語	ベトナム語	ポルトガル語	英語	中国語	日本語	合計
大津市	0	0	0	0	9	4	5	18
草津市、守山市、 栗東市、野洲市	0	0	6	3	7	15	6	37
甲賀市、湖南市	5	2	4	34	4	2	0	51
東近江市、日野町、 近江八幡市、竜王町	0	1	3	14	11	8	5	42
彦根市、愛荘町、 豊郷町、甲良町、 多賀町	0	0	7	11	9	2	9	38
米原市、長浜市	7	0	2	128	11	1	0	149
高島市	0	0	0	0	1	0	1	2
県外	0	0	12	1	2	2	0	17
合計	12	3	34	191	54	34	26	354

問2 日常使っている言葉は何語ですか。(複数回答可/単位：人)

問2 日常使っている言葉は何語ですか。

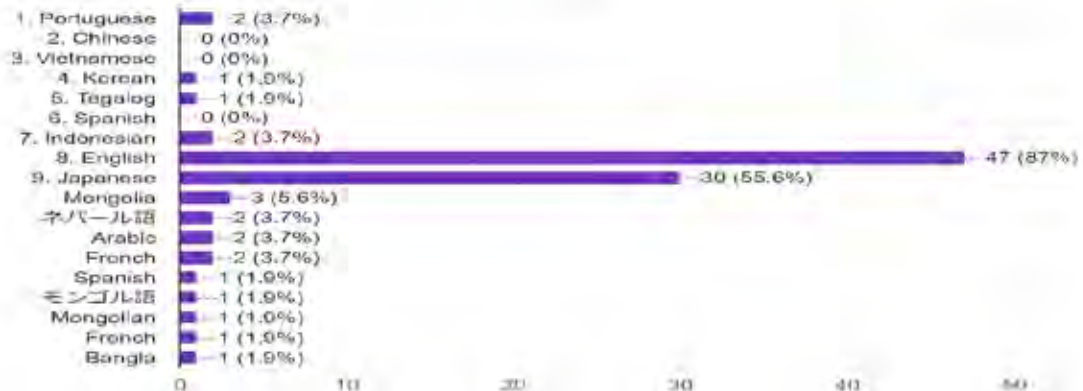
26 件の回答



日本語回答

Q. 2 What language do you speak on an everyday basis?

54 件の回答



英語回答

Pergunta 2. Que línguas você usa no dia a dia?

191 件の回答



ポルトガル語回答

1. ポルトガル語
2. 中国語
3. ベトナム語
4. 韓国語
5. タガログ語
6. スペイン語
7. インドネシア語
8. 英語
9. 日本語

P 2 ¿Qué idioma utiliza diariamente?

12 件の回答

スペイン語回答



Tanong 2 Anong salita ang ginagamit mo sa pamumuhay

3 件の回答

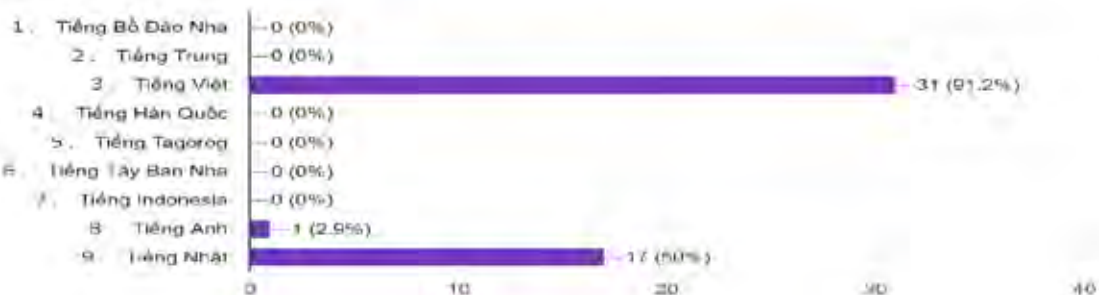
タガログ語回答



Câu 2 Ngôn ngữ đang sử dụng hàng ngày là ngôn ngữ gì vậy ?

34 件の回答

中国語回答



二、日常使用的语言是什么？

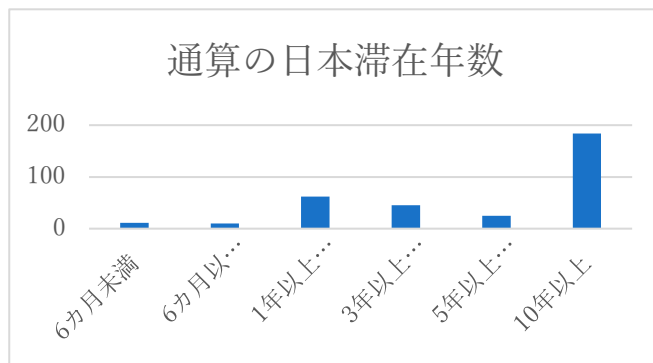
34 件の回答

ベトナム語回答

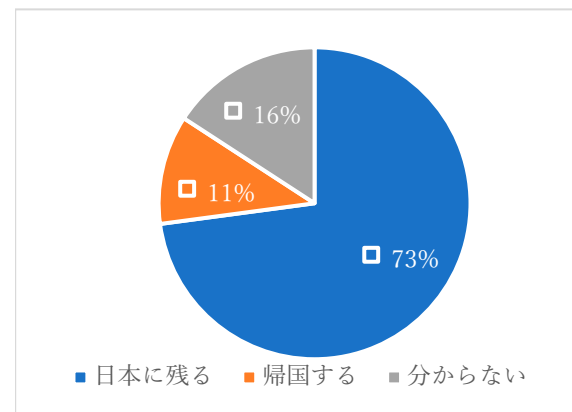


1. ポルトガル語
2. 中国語
3. ベトナム語
4. 韓国語
5. タガログ語
6. スペイン語
7. インドネシア語
8. 英語
9. 日本語

問3 トータルでどれぐらいの期間日本に住んでいますか。(単位：人)



問4 今後の滞在予定 (単位：人)



問5 日本語がどれぐらいできますか。[読む] (単位：人)

	スペイン語	タガログ語	ベトナム語	ポルトガル語	英語	中国語	日本語	合計
全く読めない	2	0	1	22	3	0	0	28
ひらがなのみ読める	3	0	0	14	1	0	0	18
ひらがな・カタカナが読める	4	2	9	89	13	7	1	125
漢字が少し読める	2	1	22	52	26	10	9	122
漢字がほとんど読める	1	0	2	14	11	17	16	61
合計	12	3	34	191	54	34	26	354

問6 現在仕事をしていますか。(単位：人)

	スペイン語	タガログ語	ベトナム語	ポルトガル語	英語	中国語	日本語	合計
仕事をしている	9	2	22	127	41	24	22	247
仕事を休んでいる	0	0	1	21	1	0	2	25
失業中	2	0	7	24	5	3	0	41
家事	0	1	0	8	1	5	2	17
学生	0	0	2	1	4	1	0	8
合計	11	3	32	181	52	33	26	338

問7 どのような就労形態で仕事をしていますか。(単位：人)

	スペイン語	タガログ語	ベトナム語	ポルトガル語	英語	中国語	日本語	合計
正規	3	0	14	49	29	4	11	110
派遣	8	2	7	119	17	10	3	166
アルバイト・パート	1	1	6	23	8	10	10	59
技能実習生	0	0	7	0	0	10	2	19
合計	12	3	34	191	54	34	26	354

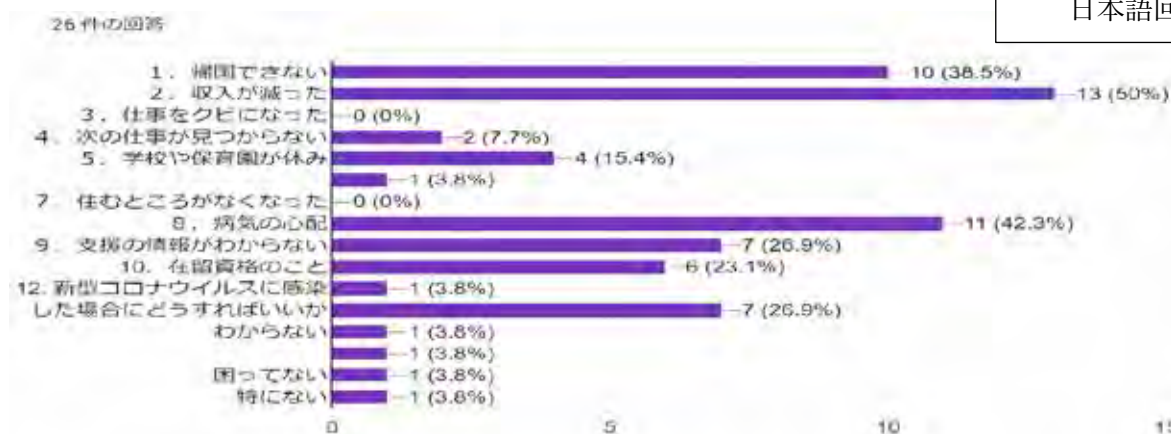
問8 どのような仕事をしていますか。(単位：人)

	スペイン語	タガログ語	ベトナム語	ポルトガル語	英語	中国語	日本語	合計
工場勤務	9	2	16	148	6	25	12	218
レストランなどの飲食店の店員	0	0	2	1	4	0	3	10
コンビニやスーパーなど小売店の店員	0	0	0	2	0	0	1	3
清掃	0	0	0	0	1	0	0	1
エンジニア	0	0	10	0	1	1	5	17
介護	1	0	0	0	0	0	0	1
医療従事者	0	0	0	0	0	0	0	0
ホテルや旅館などの宿泊施設の従業員	0	0	0	0	1	0	1	2
語学教師	0	1	0	0	31	1	0	33
会社、レストラン、店などの経営者	0	0	0	0	0	0	0	0
通訳	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	10	3	28	151	44	27	22	285

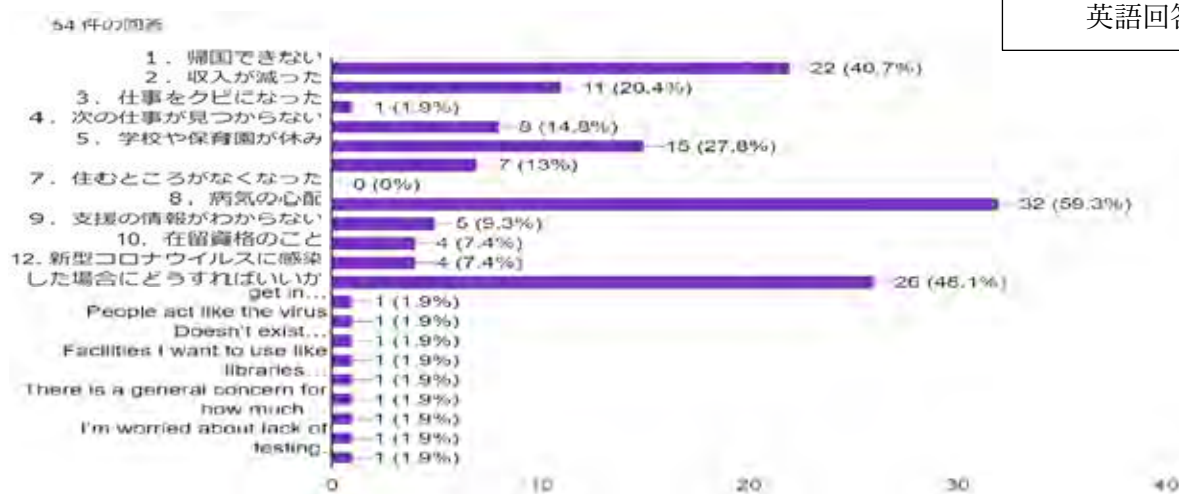
問9 新型コロナウイルス感染症の影響でどのような事に困っていますか。(複数回答/単位：人)

(日本語、英語、ポルトガル語回答のみ抜粋して掲載)

日本語回答



英語回答



ポルトガル語回答



問10 とても困っていることがあれば、その内容を教えてください。(記述式) (一部抜粋)

- ・ストレス、不安、PCR 検査の少なさ。感染が怖い。病院が受け入れてくれるか不安。
- ・家賃が払えない。チケット（航空券）が買えない。不況で収入が減少し、ローンや様々な支払いができな。失業で生活が困る。仕事が見つからない。

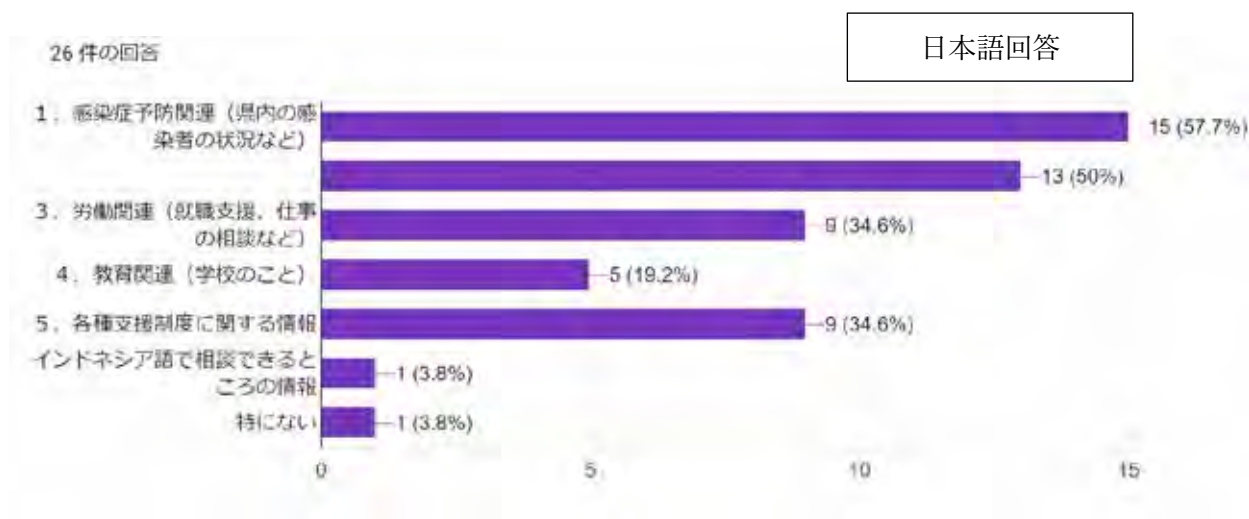
- ・学費が支払えなく、学校をやめるかもしれない。

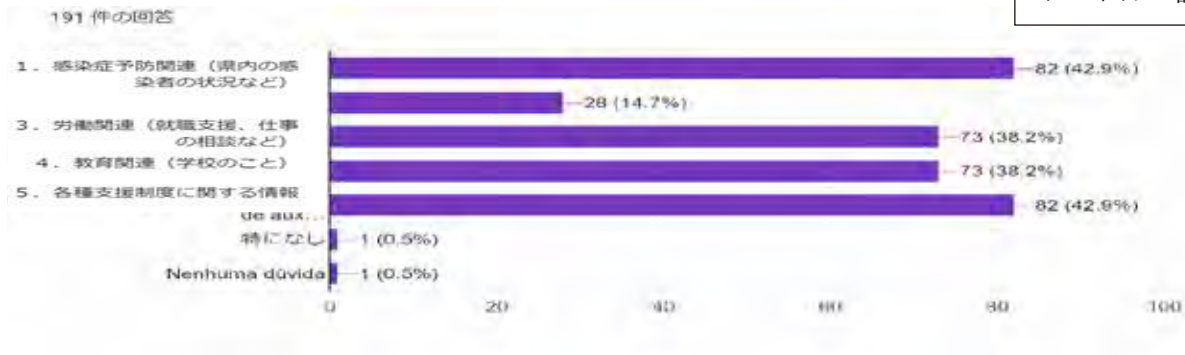
問 1 1 新型コロナウイルス感染症に関する情報収集のために何を利用していますか。

(複数回答/単位：人)

	スペイン語	タガログ語	ベトナム語	ポルトガル語	英語	中国語	日本語	合計
FB	7	3	33	162	36	0	19	260
LINE	1	0	0	1	3	0	1	6
Wechat	0	0	0	0	0	0	1	1
Whats App	0	0	0	0	1	0	1	2
twitter	0	0	0	0	0	0	1	1
NHK World	3	0	0	7	10	0	0	20
TV	1	0	1	16	0	0	3	21
ラジオ	0	0	0	0	1	0	0	1
新聞	0	0	0	3	3	0	0	6
滋賀県国際協会（SIA）HP, facebook	0	0	0	0	0	0	0	0
県や市役所の HP	0	0	0	0	0	0	0	0
人から情報を聞いている（家族・同僚・友達・職場の上司）	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	12	3	34	189	54	0	26	318

問 1 2 新型コロナウイルス感染症に関するどのような情報が必要ですか。（複数回答/単位：人）





問 1 3 外国人向け情報誌「みみタロウ」を知っていますか。(単位：人)

	スペイン語	タガログ語	ベトナム語	ポルトガル語	英語	中国語	日本語	合計
知っている	11	1	8	124	14	0	7	165
知らない	1	2	26	67	40	0	19	155
合計	12	3	34	191	54	0	26	320

問 1 4 しが外国人相談センターを知っていますか。(単位：人)

	スペイン語	タガログ語	ベトナム語	ポルトガル語	英語	中国語	日本語	合計
知っている	9	1	9	73	21	0	9	122
知らない	3	2	25	118	33	0	17	198
合計	12	3	34	191	54	0	26	320

問 1 5 日本語教室に通っていますか。(単位：人)

問 1 5	スペイン語	タガログ語	ベトナム語	ポルトガル語	英語	中国語	日本語	合計
通っている	1	0	15	4	8	0	7	35
通っていない	10	2	11	46	36	0	16	121
どこにあるのか知らない	1	1	8	4	10	0	3	27
合計	12	3	34	54	54	0	26	183

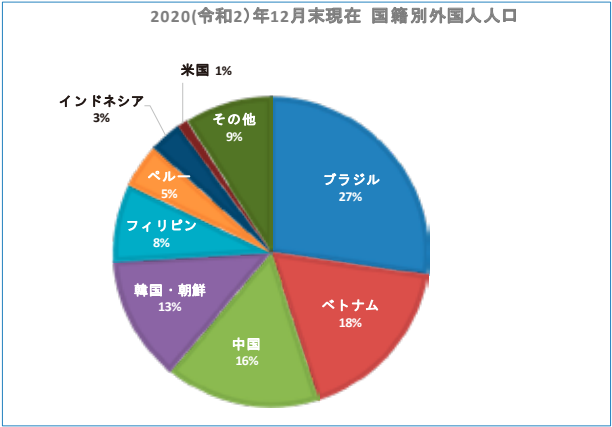
市町別 滋賀県内外国人人口（2020(令和 2)年 12 月 31 日現在）

	ブラジル	ベトナム	中国	韓国・朝鮮	フィリピン	ペルー	インドネシア	その他	合計
合 計	9,039	5,903	5,241	4,322	2,658	1,514	1,107	3,292	33,076
割 合	27.3%	17.8%	15.8%	13.1%	8.0%	4.6%	3.3%	10.0%	100.0%
大津市	177	343	916	1,817	273	77	115	777	4,495
彦根市	506	726	566	201	454	45	30	310	2,838
長浜市	1,721	468	501	89	260	195	39	383	3,656
近江八幡市	385	350	184	171	150	20	81	218	1,559
草津市	165	553	1,025	478	184	49	109	408	2,971
守山市	55	194	343	197	81	52	101	99	1,122
栗東市	272	354	232	215	100	103	72	100	1,448
甲賀市	1,515	629	397	218	350	345	104	258	3,816
野洲市	29	141	160	109	49	12	73	100	673
湖南市	1,531	566	151	277	113	356	156	167	3,317
高島市	52	108	58	188	27	0	22	58	514
東近江市	1,535	834	368	237	378	170	164	254	3,940
米原市	140	155	176	35	19	0	12	33	574
日野町	267	210	40	37	45	23	8	52	682
竜王町	24	50	32	14	11	0	0	18	155
愛荘町	560	124	50	30	120	55	7	29	975
豊郷町	100	45	28	0	26	0	0	15	220
甲良町	0	37	11	6	10	0	6	8	78
多賀町	5	16	0	0	8	0	0	5	43

出典：「滋賀県住民基本台帳人口調査結果(外国人人口集計表)」、滋賀県総合企画部国際課、クリエイティブ・コモンズ・ライセンス 表示 4.0 国際

(<https://creativecommons.org/licenses/by/4.0/deed.ja>)

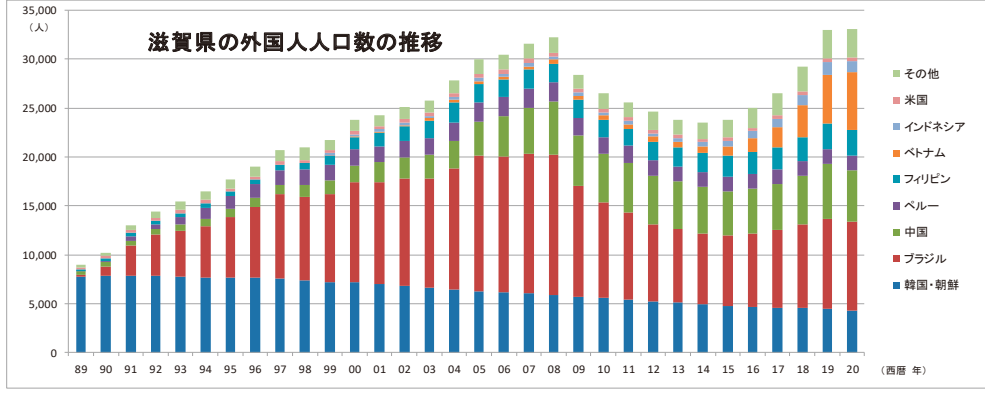
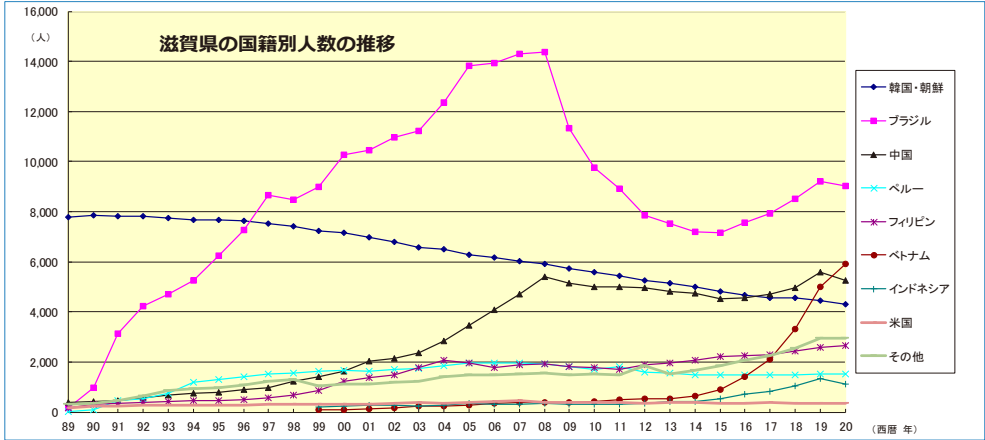
滋賀県内外国人人口の推移（1989(平成元年)12月末～2020年（令和2年）12月末）】



公益財団法人滋賀県国際協会 作成

国 籍	人口数	前年度比
ブラジル	9,039 人	△ 170
ベトナム	5,903 人	900
中国	5,241 人	△ 340
韓国・朝鮮	4,322 人	△ 145
フィリピン	2,658 人	59
ペルー	1,514 人	△ 11
インドネシア	1,107 人	△ 216
米国	345 人	△ 9
その他	2,947 人	13
合 計	33,076 人	81

*国籍数等: 108ヶ国1地域 (+8か国)



外国人人口の比率が2%以上の市町村 (2020年12月末現在)

市町村名	外国人人口 (人)	総人口 (人)	外国人比率 (%)	備考(上位4国籍)
1 湖南市	3,317	55,061	6.02%	ブラジル 1,531人、ベトナム 566人、ペルー 356人、韓国・朝鮮 277人
2 愛荘町	975	21,419	4.55%	ブラジル 560人、ベトナム 124人、フィリピン 120人、ペルー 55人
3 甲賀市	3,816	90,197	4.23%	ブラジル 1,515人、ベトナム 629人、中国 397人、フィリピン 350人
4 東近江市	3,940	113,642	3.47%	ブラジル 1,535人、ベトナム 834人、フィリピン 378人、中国 368人
5 長浜市	3,656	116,840	3.13%	ブラジル 1,721人、中国 501人、ベトナム 468人、フィリピン 260人
6 日野町	682	21,304	3.20%	ブラジル 267人、ベトナム 210人、フィリピン 45人、中国 40人
7 豊郷町	220	7,348	2.99%	ブラジル 100人、ベトナム 45人、中国 28人、フィリピン 26人
8 彦根市	2,838	112,546	2.52%	ベトナム 726人、中国 566人、ブラジル 506人、フィリピン 454人
9 草津市	2,971	135,850	2.19%	中国 1,025人、ベトナム 553人、韓国・朝鮮 478人、フィリピン 184人
10 栗東市	1,448	70,362	2.06%	ベトナム 354人、ブラジル 272人、中国 232人、韓国・朝鮮 215人
県全体	33,076	1,418,838	2.33%	ブラジル 9,039人、ベトナム 5,903人、中国 5,241人、韓国・朝鮮 4,322人

※滋賀県総合企画部国際課の調査に基づく。
※2011年（平成23年）12月末までは外国人登録者数、2012年（平成24年）12月末以降は住民基本台帳人口による。
※2013年（平成25年）12月末の統計より「中国・台湾」で統計をまとめていましたが、2019年（令和元年）12月末統計より「中国」「台湾」で統計をまとめています。
※県民43人(42,89人)に1人が外国人。

あとがき

バヤルラー、サラムットゥ、ダンニャバード、カムオン、カムサハムニダ、グラシアス、シイエシエ、オブリガード、センキュー。みみタロウキャラバン隊の活動では、たくさんの「ありがとう」が飛び交いました。立ち止まってくれてありがとう。話をしてくれてありがとう。話を聞いてくれてありがとう。受け取ってくれてありがとう。繋いでくれてありがとう。

キャラバン隊メンバーは外国人相談員やカウンセラーではありません。そのため、その場で悩みを解決したり、専門的な心のケアをさせていただくということができず、もどかしい思いをしたこともしばしばありました。しかし、文化や言葉の異なる環境でその土地の人たちに支えられて生活をした経験を持つメンバーらが恩返しの気持ちを持ちながら、少しでもお役に立ちたい、安心してもらいたいという思いで活動したことがたくさんのありがとうに繋がったのだと思います。

「外国語ができないから、外国人支援は無理だ。」と言われる方ともたくさんお会いしました。確かに外国語ができるとお手伝いできる範囲は広がるでしょう。しかし、全てを解決しようと気負う必要はありません。相手を思いやる気持ちは必ず伝わります。笑顔で挨拶をし、やさしい日本語で声をかけてください。必要であれば、しが外国人相談センターや自治体の相談窓口を紹介し、あとは任せてください。きっと笑顔のありがとうが返ってきます。このありがとうの積み重ねが多文化共生の地域社会実現につながるものと信じています。

最後になりましたが、みみタロウキャラバン隊の活動にご協力いただきました皆様に心よりお礼申し上げます。ありがとうございました。

滋賀県総合企画部国際課 西村峻介

～謝意～

メンバーとして参加いただいた皆さん、とりわけ、チーフを担ってくれた東颯馬さん、樋口愛美さん。チーフの2人がいなければこのように充実した活動は実現できませんでした。特に、樋口さんは最後までこの報告書をまとめ、アンケートの集計や分析をしてくれました。皆さんに心から感謝申し上げます。

発行物：みみタロウキャラバン隊活動報告書

発 行：2021 年 3 月

執筆：みみタロウキャラバン隊チーフ 樋口愛美

編集発行：(公財) 滋賀県国際協会

印 刷：富士出版印刷株式会社

発行：公益財団法人 滋賀県国際協会

〒520-0801 大津市におの浜一丁目 1 - 2 0

ピアザ淡海 2 階

TEL: 077-526-0931 FAX: 077-510-0601

URL: <https://www.s-i-a.or.jp>

Facebook: <https://www.facebook.com/siabiwako>

